

西表漁港製氷貯氷冷凍施設（R5繰）
西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事

令和 6 年度

竹富町役場 農林水産課

[illegible]

②

①工事用水
②工事用電力
③環境対策について
④足場その他(2.2.4)
監督員事務所(2.3.1)

③土工事

①埋戻し及び盛土(3.2.3)(表3.2.1)
山留めの撤去(3.3.3)

④

①載荷試験(4.2.3)(4.2.4)

杭地業
2杭地業

3床下防湿層(4.6.5)

鉄筋工事

①鉄筋(5.2.1)
溶接金網(5.2.2)
継手及び定着(5.3.4)
鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(5.3.5)
各部配筋(5.3.7)
機械式継手

特記事項

構内既存の施設：【○利用不可・利用できる（有償）・利用できる（無償）】

構内既存の施設：【○利用不可・利用できる（有償）・利用できる（無償）】

(1)受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調査、検討を十分に行之い、監督員の確認を得た上で施工すること。
(2)赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示による。

○「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の相立て等に關する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

規模(m²)
仕上げ
床
内壁・天井
屋根
備品の種類及び数量

埋戻し及び盛土の種類：【・A種○B種・C種・D種】

山留めの存置：【・撤去・存置】

載荷試験の種類試験の方法試験の位置載荷荷重報告書の記載事項
杭・水平試験・図示・図示・図示・図示
・鉛直試験・・・・
地盤○平板載荷試験・図示・図示・図示・図示1箇所・
・

(1)杭地業の種類と工法(4.3.1)(4.4.4)(4.5.1)
杭地業の種類
・既製コンクリート杭地業
・鋼杭地業
・場所打ちコンクリート杭地業
工法
・打込み工法
・ﾌﾞﾗｽﾄﾀﾞｲﾅﾐｯｸ工法
・特定埋設杭工法
・(回転貫入)工法
・ｾﾑﾄﾝﾄﾞﾙ工法・図示

(2)杭の寸法等(4.2.2)(4.3.3)(4.4.3)(4.5.4)
試験杭杭径杭長(m)種類継手数先端部の形状備考
本杭

(3)杭の品質等(4.3.4)～(4.3.8)(4.4.4)～(4.4.6)
設計支持力推定支持力の算定方法水平方向のずれ精度継手工法杭頭の処理

(4)支持層(4.3.4)～(4.3.5)(4.5.5)(4.5.6)
支持層の位置支持層の種類支持層への掘削深さ支持層への根入れ深さ
図示による

(5)場所打ちコンクリートにおける材料等(4.5.4)
ア鉄筋
帯筋鉄筋の最小かぶり厚さ備考
【・(参-2.2)・図示】

イセメントの種類【・普通ｺﾝｸﾘｰﾄ・図示】
ウコンクリート
設計基準強度種類備考

防湿層の範囲は、図示による。

種類の記号呼び名(mm)備考
SD295AD10～D16
SD345AD19～D25

綱目の形状寸法鉄線の経備考
図示による

(1)継手の種類等
施工部位継手の種類備考(重ね継手の長さ等)
柱・梁の主筋ガス圧接
その他重ね継手

(2)柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、応力集中やコンクリートの充填性等についで十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。
(3)鉄筋の定着長さ
【※図示による(仕様書及び梁リスト表参照)】

④鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

⑤各部配筋(5.3.7)

6機械式継手
機械式継手の種類：・図示・

項目

⑥①コンクリートの強度
②コンクリートの材料
③コンクリートの強度試験
④コンクリート打直し仕上げ(6.2.5)(6.8.1)
⑤コンクリートの品質管理
⑥打継ぎ(6.6.4)
型枠(6.8.1)(6.8.2)
8軽量コンクリート

⑨場中コンクリート

⑩品質確保

7鉄骨工事
①鋼材(7.2.1)(表7.2.1)
②高力ボルト(7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7)
③普通ボルト(7.2.3)(7.3.2)
④アンカーボルト(7.2.4)(7.3.2)(7.10.3)(表7.10.1)

5デッキプレート(7.2.7)(7.7.8)
6スタッド(7.2.8)
7柱底均しモルタル(7.2.9)
⑧材料試験等(7.2.10)
9仮組(7.3.10)
⑩溶接(7.6.3)(7.6.4)(7.6.7)(7.6.12)
11塗料の種類(7.8.4)(表18.3.1)
12耐火被覆の種類及び性能(7.9.2)(7.9.3)

⑬その他(7.11.2)(7.12.5)

気乾単位容積質量による種類類別等設計基準強度(Fc)施工部位
○普通ｺﾝｸﾘｰﾄ・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ※Ⅰ類・Ⅱ類21躯体
○普通ｺﾝｸﾘｰﾄ・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ※Ⅰ類・Ⅱ類21土間、設備基礎
○普通ｺﾝｸﾘｰﾄ・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ※Ⅰ類・Ⅱ類18捨てｺﾝｸﾘｰﾄ
(6.2.1)(6.2.2)(6.2.3)(6.10.1)(6.13.1)(6.14.1)(6.15.1)

(1)セメントの種類：【※普通ｶﾞﾙﾌﾞﾗﾝﾄﾞセﾓﾝﾄﾞ・ﾌﾗｲｱｼﾞｪﾝﾄﾞB種・ﾌﾗｲｱｼﾞｪﾝﾄﾞB種の適用箇所：【・図示・】
(3)骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A・B(6.3.1)

材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。

仕上げの種類打増し厚さ施工部位備考
B種+20柱、梁、壁、スラブ外部、各種目地施工部

工事に使用するコンクリートは事前に試し練りを行い、その品質等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報告する。

打継ぎ目地の寸法は、図示による。

(1)外部に面する打直し仕上の打増し厚さ【○20mm・()mm】
(2)ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。
(3)MCR工法の適用：・有り【使用箇所：・図示・】

施工部位種類気乾単位容積質量
・1種・2種
・1種・2種

水又は土に接する軽量コンクリートの使用：・有り【使用箇所：・図示・】

場中コンクリートの適用は【那覇市】の日平均気温の年平均値が25℃を超える【6月2日】から【10月17日】までとする。
(注)適用する場合は、気象庁HPより日平均気温の年平均値を確認し、【】を記載すること。

レディーミクストコンクリートの品質確保については、「レディーミクストコンクリートの品質確保について」（平成15年11月10日付国営建第95号）及び「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について」（平成15年11月10日付け国営技第71号）を適用する。

記号の種類適用箇所備考
図示形状及び寸法は、図示による。

種類径縁端距離間隔ゲージ備考
図示

すべり係数試験：【・実施する・実施しない】
試験の方法、試験片の摩擦面の処理：【・図示・】

径縁端距離間隔ゲージ備考
図示

・構造用アンカーボルト
種類種類縁端距離間隔ゲージ形状及び寸法保持及び埋込み工法
図示

・建方用アンカーボルト
種類種類縁端距離間隔ゲージ形状及び寸法保持及び埋込み工法
図示

施工部位材質形状寸法備考

デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法：【・図示・】

施工部位材質形状寸法備考

材料厚さ種類備考
図示

引張りを受ける材料の試験等：・実施する【図示()】

仮組の実施：【・実施する・実施しない】

開先形状エンドタブの有・無及び適用箇所スカラップの形状溶接部の試験
図示超音波探傷試験

錆止め塗料の種類：【・A種・B種】

種類所要性能及び摘要箇所

(1)軽量形鋼構造におけるボルトの接合方法：
(2)溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理：
【・プラスチック・プラスチック以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法：】

項目

8コンクリートブロック・ALCパネル・ECP工事

9防水工事

10シーリング

11保証

石工事

11タイル工事

11タイル工事

11タイル工事

1補強コンクリートブロック造(8.2.2)(8.2.4)(8.2.5)

2コンクリートブロック塀及び堀(8.3.2)～(8.3.4)

3ALCパネル(8.4.2)～(8.4.5)(表8.4.2)(表8.4.3)

4押出成形セメント板(ECP)(8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

1防水の種類(9.2.2)(9.3.2)(9.4.2)(9.5.2)(9.6.1)
防水の種類厚さ施工箇所

(2)防水層の種類(9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)(9.6.3)
防水層の種類工法備考
(表9.2.3)～(表9.2.9)(表9.3.1)～(表9.3.3)(表9.4.1)～(表9.4.3)(表9.5.1)(表9.5.2)(表9.6.2)

(3)その他の材料等
・ケイ酸質系塗布防水(配管ビット、雨水槽)(9.6.1)(9.6.2)(9.6.3)(9.6.4)
・ﾌﾟﾗｽﾀｸﾞﾙﾌﾞﾙｽﾞｰﾂ防水(タイル下地)(9.5.3.(b))Y-2工法
・押え金物：(材質)(寸法)
・絶縁用シート：(材質)
・断熱材：(材質)(厚さ)
・仕上げ塗料：(種類)(使用量)

(4)施工
・下地の処理方法等：(

シーリング材の種類施工箇所試験等
PU-2打ち継ぎ・誘発目地※簡易接着性試験
MS-2建具廻り※簡易接着性試験

(1)元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。
(2)保証期間は、工事完成後【10】年間とする。ただし、アスファルト防水は【】年間とする。

1石材(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

(1)天然石
施工箇所種類表面仕上げの種類

(2)テラゾ
施工箇所種石の種類、大きさ形状及び寸法表面仕上げの種類

(1)工法、加工等
工法厚さ石裏面処理裏打ち処理備考

(2)乾式工法的方式：【・スライド方式・ロッキング方式】
(3)あと施工アンカーの材質及び寸法：
(4)外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質：

厚さ石裏面処理目地幅備考

施行箇所工法石材の厚さ石裏面処理裏打ち処理備考

(1)タイルの種類
施工箇所形状・寸法うわぐすり吸水率役物色耐滑り性

(2)タイルの試験張り：【・行う・行わない】
(3)タイルの見本焼き：【・行う・行わない】

壁タイル張りの工法等
タイルの種類大きさ工法張付け材料の種類、塗厚等

モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理：【・MCR工法・目荒らし工法】

種類適用タイルタイル型枠先付け面のせき板

種類適用タイルタイル型枠先付け面のせき板

項目

1木材(12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)(表12.2.1)(表12.2.2)

2土壌の防蟻処理

3防腐・防蟻・防虫処理(12.3.1)(12.3.2)

4防蟻処理、防虫処理の施工及び保証

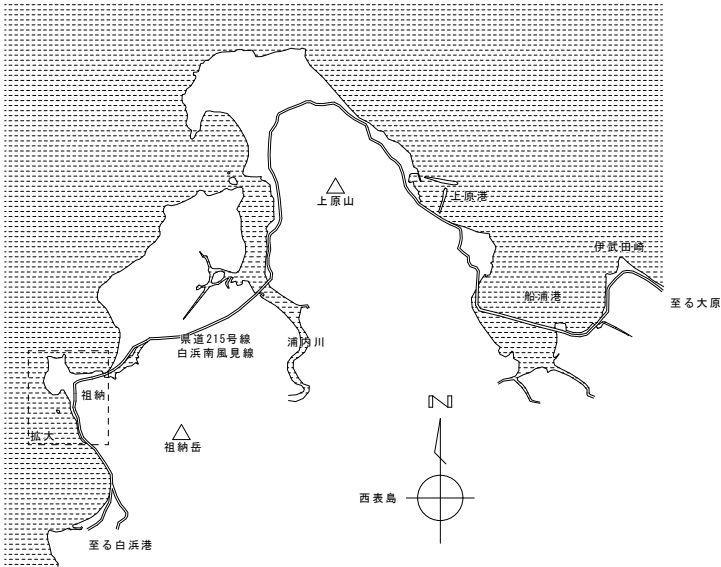
⑬1長尺金属板葺(13.2.2)
⑭折板(13.3.2)
3県産瓦葺

⑯とい(13.5.2)(表13.5.1)

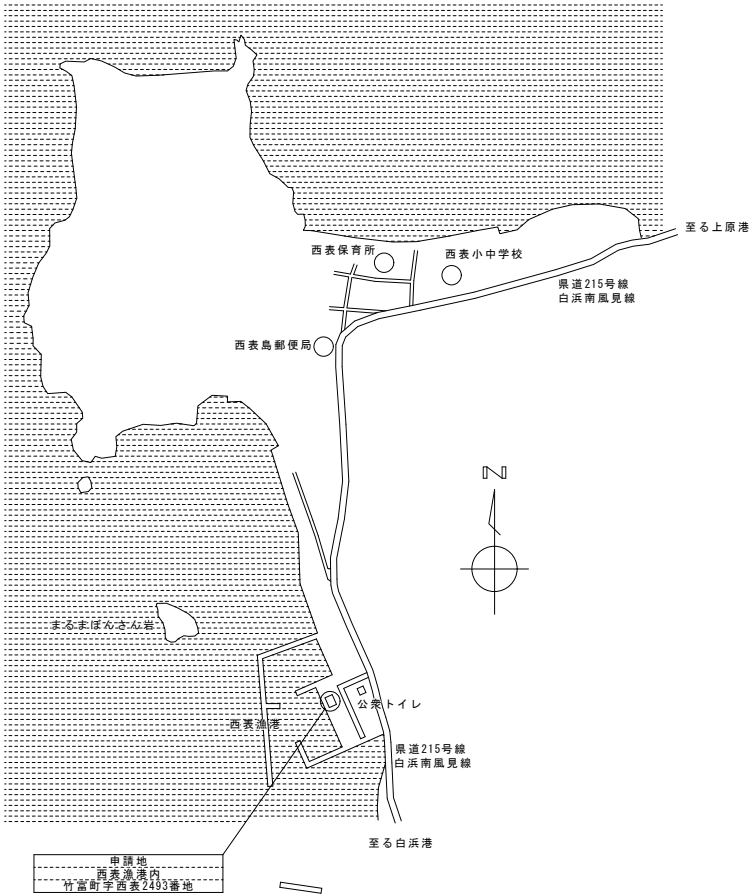
(1)見え掛り面の表面仕上げの程度
施工箇所種類
・A種・B種・C種・Hー種
・A種・B種・C種・Hー種

(2)木材(下地材)の含水率：※A種・B種
木材(造作

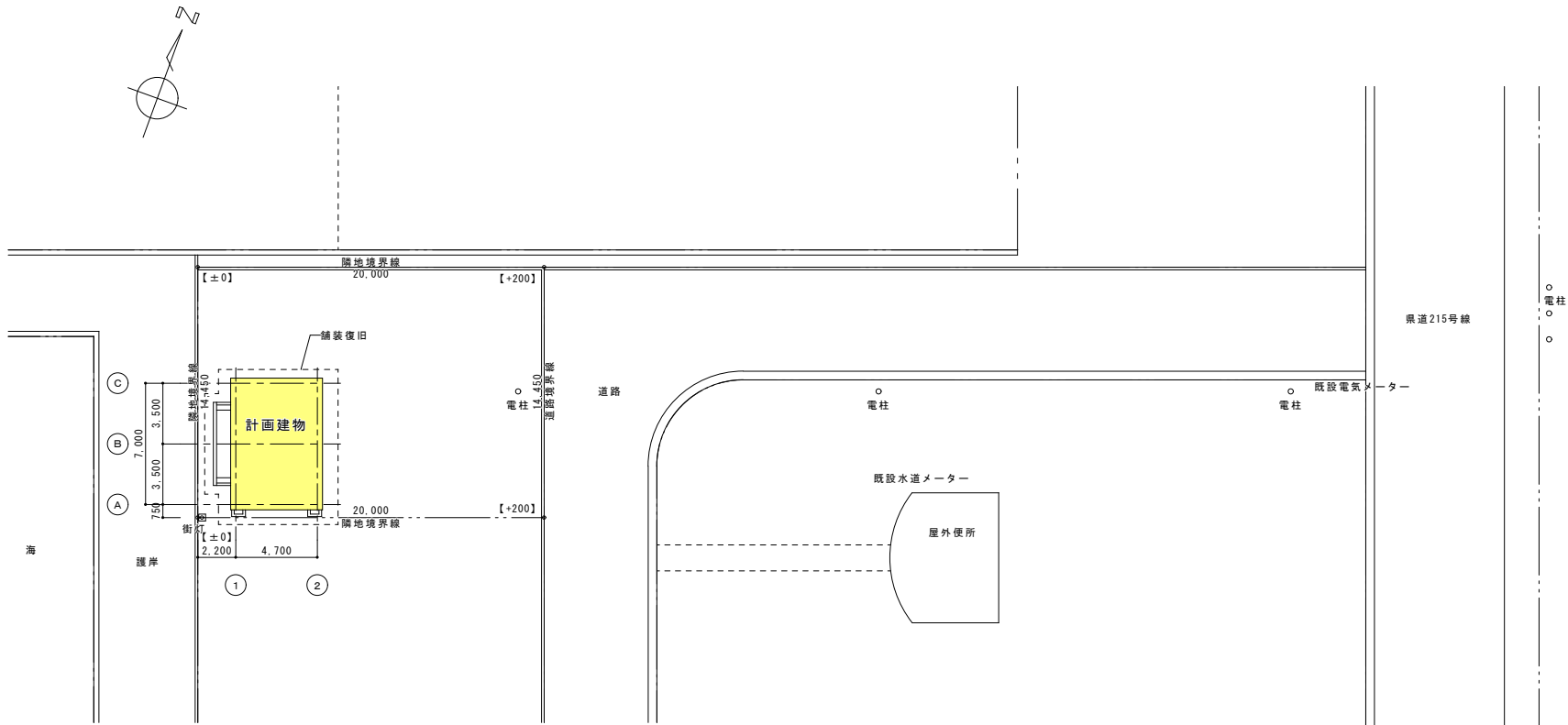
章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																												
金 属 工 事	⑭	1 あと施工アンカー (14.1.3) 2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理				塗 装 工 事	⑮	① 塗装の種類及び種類 (18.1.7) (18.2.2)～(18.13.2) 2 保証	排 水 工 事	10 くつふきマット 11 流し台ユニット	(1) くつふきマットの材質：【 ・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製 】 図示 (鋼製グレーチング、アングル枠) (2) 受け枠の材質：【 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製 】 <table><tr><td>名称</td><td>寸法</td><td>適用内容</td><td>規格・品質</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考																							
名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考																																			
⑬	③鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2) 4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.3) (14.4.4)	4 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (16.3.5) (表16.3.1) (表16.3.2) (表16.3.3) (表16.3.4) 5 鋼製建具 (16.4.2)	(3) 外部に面する建具の表面処理の種類及び複合皮膜の種類 種類：B－1 複合皮膜の種類：【 ・A 1 ・A 2 】 (JIS H 8602) (4) 結露水の処理方法： (5) 水切り及びびぜん板等の加工及び組立は、図示による。 (1) 建具の性能等 <table><tr><td>種類</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 種類 等級 備考 ・防音ドアセット ・断熱ドアセット (3) 表面色： (4) 水切り及びびぜん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・ (1) 建具の性能等 <table><tr><td>施工箇所</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>耐風圧性</td><td>備考 (材料等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・簡易気密型ドアセット (3) 鋼板の種類： 【 ・JIS G 3302 ・JIS G 3317 】 (1) 建具の性能等 <table><tr><td>種類</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・簡易気密型ドアセット (3) ビニル床シート等 (19.2.2) (19.2.3) 2 カーペット敷き (19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2) 3 合成樹脂塗床 (19.4.3) 4 フローリング張り (19.5.2) (19.5.3) 5 ビニル床シート等 (19.2.2) (19.2.3) (1) ビニル床シートの材料及び工法 施工箇所 種類の記号 色柄 厚さ 熱溶接工法の適用 ・有り ・無し (2) ビニル床タイル、ゴム床タイル 施工箇所 種類 (・形状) 厚さ等 (3) 特殊機能床材の適用：【 ・帯電防止床シート又は床タイル ・視覚障害者用床タイル ・耐動荷重性床シート ・防滑性床シート又は床タイル 】 施工箇所 種類 (・形状) 厚さ等 施工箇所 カベットの種類・種類 厚さ バイル形状等 工法 ・グリッパ― ・全面接着 ・グリッパ― ・全面接着 (1) 帯電性の適用 【 ・有り ・無し 】 (2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。 エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類： 施工箇所 工法 品名 備考 (樹種、種別等) 施工箇所 工法 品名 備考 (樹種、種別等) (1) 帯電性の適用 【 ・有り ・無し 】 (2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。 エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類： 施工箇所 工法 品名 備考 (樹種、種別等) 施工箇所 工法 品名 備考 (樹種、種別等) (1) せつこうボード 規格名称 種類の記号 厚さ 施工箇所 目地工法の種類 (2) 合板の種類 合板の名称 施工箇所 その他の仕様 ※ 合板の木材処理 (防虫・防蟻) については、本特記仕様書第1 2章第3項及び第4 項を適用する。 (3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材：【 】 品質及び防火性能： 【 】 断熱材の種類及び厚さ： 【 】 1 フリーアクセスフロア (20.2.2) 2 可動間仕切 (20.2.3) 3 移動間仕切 (20.2.4) 4 トイレブース (20.2.5) 5 階段滑り止め (20.2.6) 6 ブラインド (20.2.12) 7 ロールスクリーン (20.2.13) 8 カーテン (20.2.14) 9 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2) (20.4.3) ②ユニット及びその他工事	種類	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考 (材料等)						種類	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							②①排水管 (21.2.1) ②側溝、排水枡等 (21.2.2) (21.2.3) ③基礎 (21.2.2) 4 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1) ①路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5) (表22.2.1) ②路壁 (22.3.2) (22.3.5) ③アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5) 4 コンクリート舗装 (22.5.2) 5 カラー舗装 (22.6.2) 6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) 7 ブロック系舗装 (22.8.1) 23 植 栽 及 び 屋 上 緑 化 工 事	(1) 側溝 形状 寸法 備考 (2) 排水枡、ふた 種類 適用荷重 備考 図示 (3) グレーチング 材質 用途 適用荷重 メインバーピッチ 備考 図示 (4) 地盤の材料： 【 再生ｸﾞﾗﾝｳﾞｳﾝ 】 基礎の厚さ及び種類：図示による コンクリート緑石及び側溝 名称 規格名称 形状 寸法等 備考 (1) 路床の種類等 層の種類 厚さ 盛土の材料 路床安定処理 試験 (2) ジオテキスタイルの適用及び品質： 【 】 (1) 車道部の厚さ： 【 図示による 】 (2) 締固め度試験： 【 JIS A 1214 JIS A 1210 】 (1) 構成及び厚さ：【 図示による (A－) ・ 】 (2) 加熱アスファルト混合物等の種類： 【 密粒度アスファルト混合物(13) ・再粒度アスファルト混合物(13) 】 (3) シールコートの適用： 【 ・有り 無し 】 (1) 構成及び厚さ：【 ・図示による (A－) ・ 】 (1) 構成及び厚さ：【 ・図示による (A－) ・ 】 (2) 種類： 【 ・加熱系 () ・常温系 () 】 (3) 添加する着色骨材又は自然石 【 ・図示による (A－) ・ 】 (4) その他 【 】 構成及び厚さ：【 ・図示による (A－) ・ 】 (1) ブロック系舗装の適用：【 ・コンクリート平板舗装 ・インターロッキングブロック舗装 ・鋪石舗装 】 (2) 種類及び寸法等：【 ・図示による ・ 】 (3) ジオテキスタイルの適用及び品質： 【 】 1 植栽地の確認 (23.1.3) (23.2.2) (23.2.3) 2 植樹 (23.3.2)～(23.3.4) (23.3.6) 3 芝張り等 (23.4.2) 4 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) (23.5.4) (1) 植栽地の土壌試験：【 】 (2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。 (3) 土壌改良材：【 】 (4) 植込み用土：【 】 (1) 種類等 樹木の種類 樹高(m) 有効土層の厚さ(cm) 支柱の形 備考 (2) 新植樹木の枯補償の期間：【 ※1年・()年 】 (3) 移植樹木の枯損処理を行う期間：【 ※1年・()年 】 (1) 芝の種類： (2) 種子の種類及び量： (3) 施設類 樹種 芽立数 コンテナ径 単位面積当たりのコンテナ数 土壌層の厚さ 排水層の厚さ 樹木の樹種、寸法、数量 支柱の形式 かん水装置 ※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。 ※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。
種類	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																		
施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考 (材料等)																																			
種類	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																		
⑤	⑤金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3) 6 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1) 7 手すり及びタラップ (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1)	6 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.2.1) 7 ステンレス製建具 (16.6.2) (16.6.3) 8 木製建具 (16.7.2) (16.7.4) 9 建具用金物 (16.8.2) (16.8.3) (表16.8.1) 10 鍵 (16.8.4) 11 自動ドア開閉装置 (16.9.3) (表16.9.4) 12 シャッター (16.11.2) (16.12.2) (16.12.4) 13 オーバーヘッドドア (16.13.2) 14 ガラス (16.14.2) (16.14.4) (16.14.5)	(1) 金属成形板の種類及び表面処理： (2) 長尺の場合における伸縮調整継手： (1) 構成部材による種類： (2) アルミニウム製笠木本体の材料の表面処理の種類及び複合皮膜の種類は次による。 種類：【 ・A－1 ・B－1 】 種類をB－1とした場合の複合皮膜の種類：【 ・A 1 ・A 2 】 (JIS H 8602) (3) 固定金具の間隔及び固定方法： (1) 手すり ア 表面処理の種類をB－1種又はB－2種としたときの複合皮膜の種類 【 ・A 1 ・A 2 】 (JIS H 8602) イ 取付け金物等は、全てステンレス (SUS 304) とする。 (2) タラップ ア 表面処理の種類をB－1種又はB－2種としたときの複合皮膜の種類 【 ・A 1 ・A 2 】 (JIS H 8602) イ 取付け金物等は、全てステンレス (SUS 304) とする。 ウ 足掛かり部は、スリッ止め加工とする。 (1) 種類： ・通気工法 (・二重下地 ・単層下地) ・直貼り工法 (・ﾌﾗﾏｽﾀﾞ下地 ・ﾌﾗﾝﾄﾞﾏｽﾀﾞ下地) ・外張断熱工法で断熱材の外側に鋼線を施工する形式の通気工法を行う場合 () (2) 建築基準法に基づき耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定がある場合の下地の仕様 () 材料 種類 厚さ モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5) セルフレベリング材塗り (15.5.2) (表15.5.1) 5 仕上塗材仕上げ (15.6.2) (表15.6.1) 6 マスチック塗料塗り (表15.7.2) 7 せつこうプaster塗り (15.8.2) (15.8.3) 8 しっくい塗り (15.10.2) 9 ロックウール収付け (15.12.3) (1) モルタル：○現場調合材料 ○既調合材料 (・ﾌﾟﾘｰﾑ樹脂) (2) 既製目地材の適用及び形状： (3) 床の目地の設置及び工法： 図示 (4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験：【 ・実施する ・実施しない 】 セルフレベリング材の種類：【 ・せつこう系 ・セメント系 】 種類 呼び名 仕上げの形状等 工程 種別 塗料その他 (1) 下塗り及び巾塗りに用いるせつこうプaster ・既調合ﾌﾗｽﾀｰ (下塗り用) ・現場調合ﾌﾗｽﾀｰ (下塗り用) (2) 上塗り：・既調合ﾌﾗｽﾀｰ (上塗り用) ・しっくい塗り (1) しっくい：・現場調合材料 ・既調合材料 仕上げ厚さ： (1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。 (2) 防犯建物部品の適用は、図示による。 (1) 建具見本の製作：【 ・行う ・行わない 】 (2) 特殊な建具の仮組：【 ・実施する ・実施しない 】 (1) 建具の性能等 <table><tr><td>種類</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・防音ドアセット ・断熱ドアセット ・耐震ドアセット (1) 防火戸等 (16.1.3) (16.1.6) 2 見本の製作等 (16.1.4) 3 アルミニウム製建具 (16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表14.2.1) (表16.2.1) 17カーテンウォール工事	種類	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所							16 建 具 工 事	1 防火戸等 (16.1.3) (16.1.6) 2 見本の製作等 (16.1.4) 3 アルミニウム製建具 (16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表14.2.1) (表16.2.1) 1 カートンウォール (17.2.2) (17.2.3) (17.2.6) (17.3.2) (17.3.3) (17.3.6) (1) カートンウォールの種類：【 ・メタル ・PC 】 (2) 性能 耐風圧性能 耐震性 水密性 気密性 耐火性 耐温度性 遮音性 断熱性 (3) 材料の種類 金属材料 シーリング材 耐火目地材 断熱材 構造ガasket (4) 先付け材料： 【 ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・ 】 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛け部分の仕上げ： (6) PCカーテンウォールの仕上げ： (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け： (1) カートンウォールの種類：【 ・メタル ・PC 】 (2) 性能 耐風圧性能 耐震性 水密性 気密性 耐火性 耐温度性 遮音性 断熱性 (3) 材料の種類 金属材料 シーリング材 耐火目地材 断熱材 構造ガasket (4) 先付け材料： 【 ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・ 】 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛け部分の仕上げ： (6) PCカーテンウォールの仕上げ： (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け： (1) カートンウォールの種類：【 ・メタル ・PC 】 (2) 性能 耐風圧性能 耐震性 水密性 気密性 耐火性 耐温度性 遮音性 断熱性 (3) 材料の種類 金属材料 シーリング材 耐火目地材 断熱材 構造ガasket (4) 先付け材料： 【 ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・ 】 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛け部分の仕上げ： (6) PCカーテンウォールの仕上げ： (7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け：																						
種類	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																		
備考		⑤ 会社 エン設計		沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 沖縄県知事登録第132-746号 一級建築士第195008号	TEL 098-933-8885 FAX 098-933-8956 渡慶次 伸	事業名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 (R5線) 工事名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事 工事場所 竹富町字西表2493番地	図面名称 特記仕様書－3	縮尺 A1版：－ A3版：－	図面番号 A－04																														



付近見取り図



拡大図



配置図
S=1/200

※設計GLは護岸と敷地境界緑石（街灯付近）を基準とする
図面の高低差と現況地盤を確認の上監理者協議を行い基準高さを決定する
プラットフォーム高低差は550～650となる様調整する

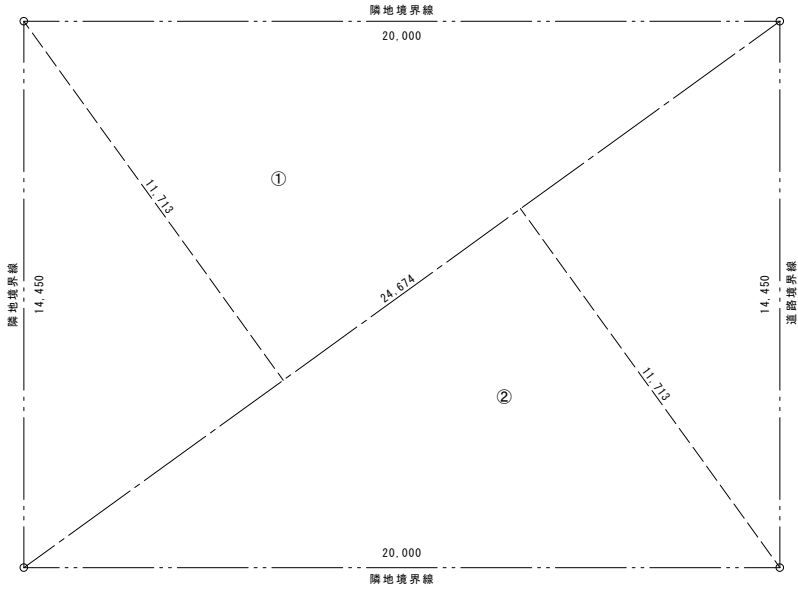
□ 外部仕上表

部 位	仕 上
屋 根	厚0.8 金属屋根（折板葺き）ガルバリウム鋼板ルーフデッキ張り ケラバ化粧カバー
外 壁	厚0.5 ガルバリウム鋼板（角波）縦張り、山高25 基礎部：コンクリート打放補修
階 段	コンクリートはけ引き仕上（水勾配付） 側面：コンクリート打放補修
樋、 豎 樋	ガルバリウム鋼板角型雨とい（屋根、庇） カラー樋、金物：亜鉛メッキ
庇、軒裏	ガルバリウム鋼板曲げ材
屋外機置き場	床：コンクリート金コテ（水勾配付） 壁：コンクリート補修の上E P G
建物周囲	既設撤去の上アスファルト舗装
雨水排水	砂利敷（浸透マス）

□ 内部仕上表

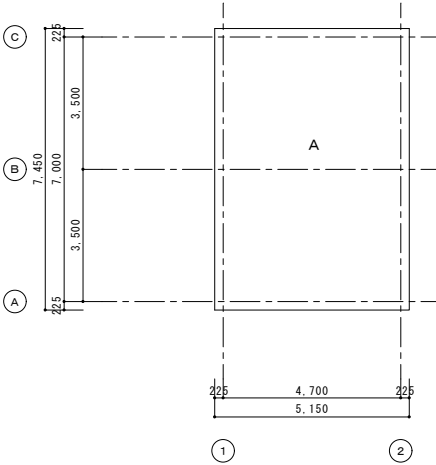
部 位	床		壁		天井		備 考
室 名	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	
プラットフォーム	コンクリート金コテ（水勾配付） 車止めゴムストッパ＝	—	ガルバリウム鋼板外装材表し 鉄骨表し（亜鉛メッキ仕上）	—	折板屋根材表し 鉄骨表し（亜鉛メッキ仕上）	—	
冷凍庫	プレハブ冷凍庫仕様による	—	プレハブ冷凍庫仕様による	—	プレハブ冷凍庫仕様による	—	プレハブ冷凍庫：片開き扉
製氷・貯水庫	プレハブ貯水庫仕様による	—	プレハブ貯水庫仕様による	—	プレハブ貯水庫仕様による	—	架台共プレハブ貯水庫

- 特記
- ・火気使用無し。（法28条、法35条の2）
 - ・石綿等が添加された建築材料は使用しない（法28条の2）
 - ・給排水その他配管設備の設置及び構造は、施行令129条の2の4の規定に適合させる。
 - ・消防法17条に基づき必要な消防設位を設置する。
 - ・給水装置の構造及び材質は水道法施行令第6条のとおりとする。



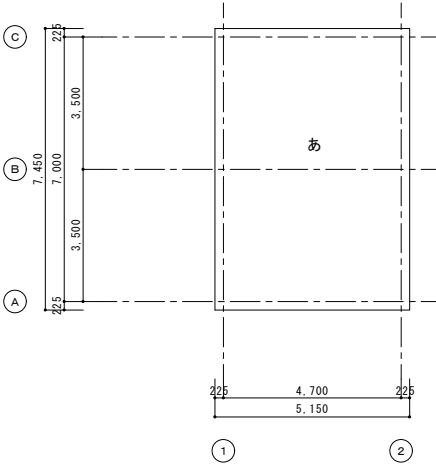
敷地面積求積図
S=1/100

敷地面積求積表	
符号	計算式
①	24.674 × 11.713 ÷ 2 = 144.503281
②	24.674 × 11.713 ÷ 2 = 144.503281
合計	289.006562
	∴ 289.00 m ²



建築面積求積図
S=1/100

建築面積求積表	
符号	計算式
A	5.150 × 7.450 = 38.367500
合計	38.367500
	∴ 38.36 m ²

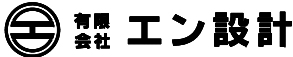


床面積求積表
S=1/100

床面積求積表	
符号	計算式
あ	5.150 × 7.450 = 38.367500
合計	38.367500
	∴ 38.36 m ²

敷地面積	289.00	m ²		
建築面積	38.36	m ²	建ぺい率	13.27%
延べ床面積	38.36	m ²	容積率	13.27%

備考



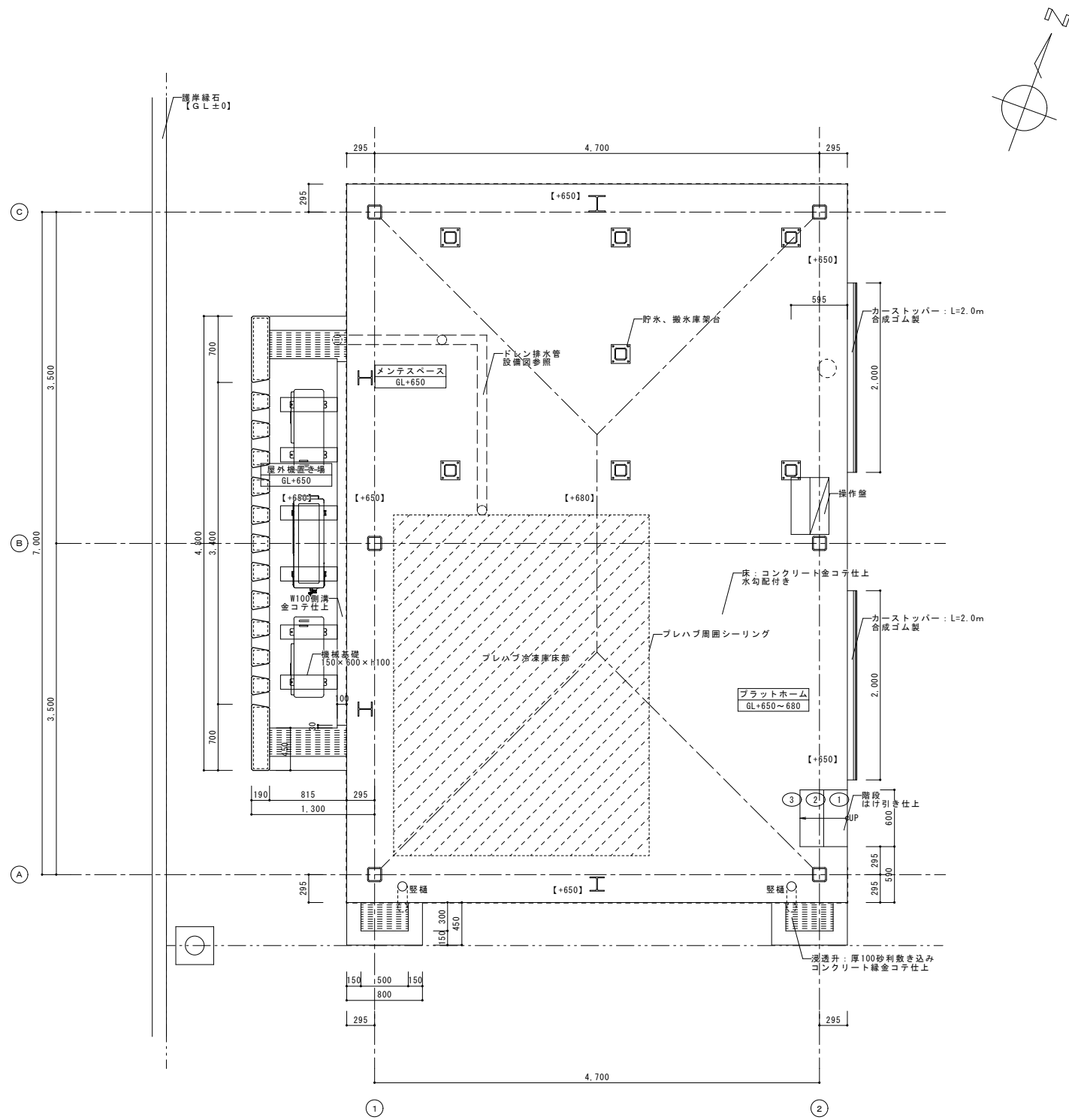
沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 TEL 098-933-8885
沖縄県知事登録第132-746号 FAX 098-933-8956
一級建築士第195008号 渡慶次 伸

事業名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 (R5線)
工事名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事
工事場所 竹富町字西表2493番地

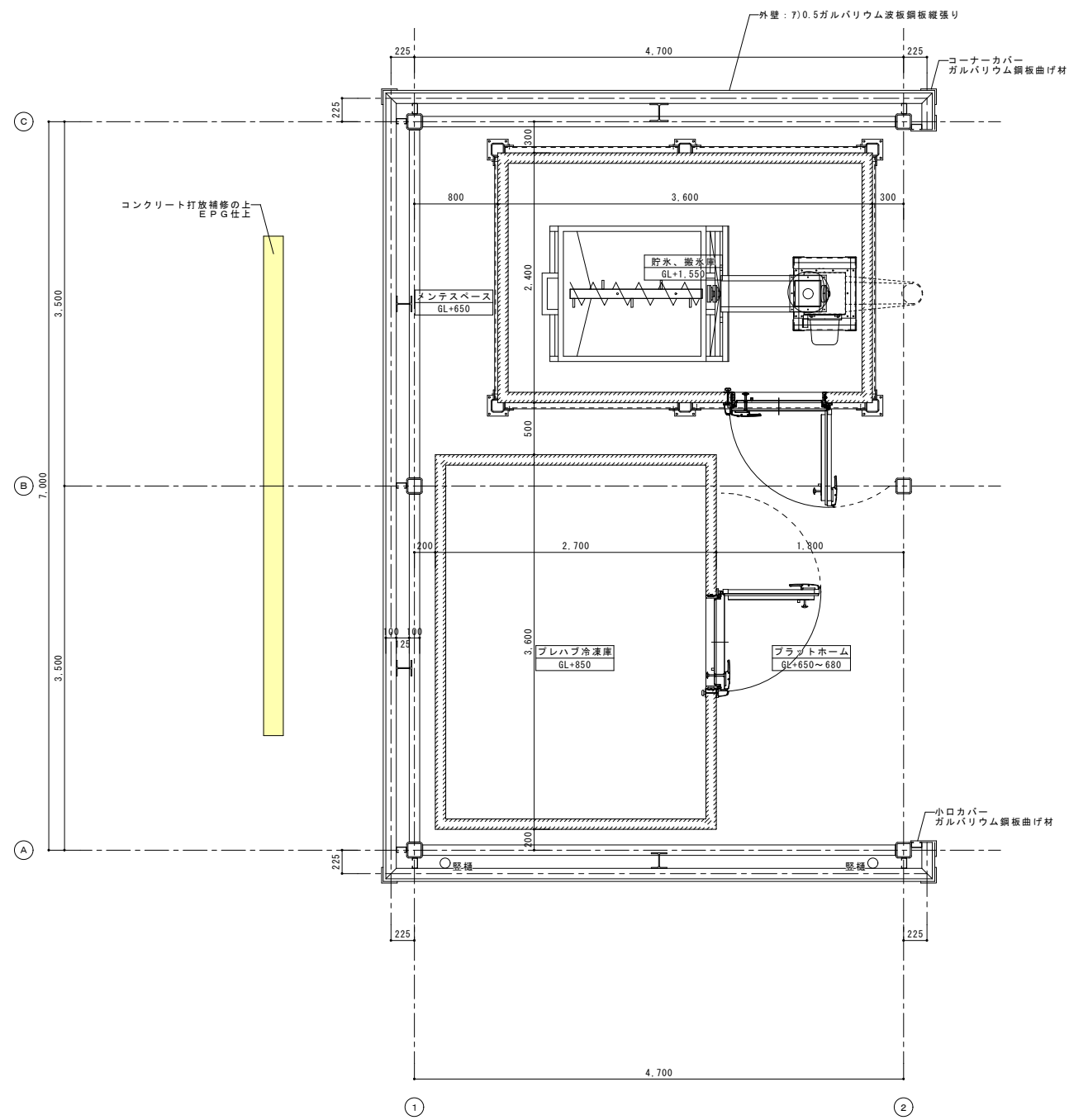
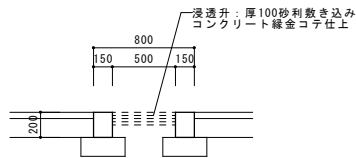
図面名称
敷地面積・建築面積・延べ床面積求積図

縮尺
A1版: 1/100
A3版: 1/200

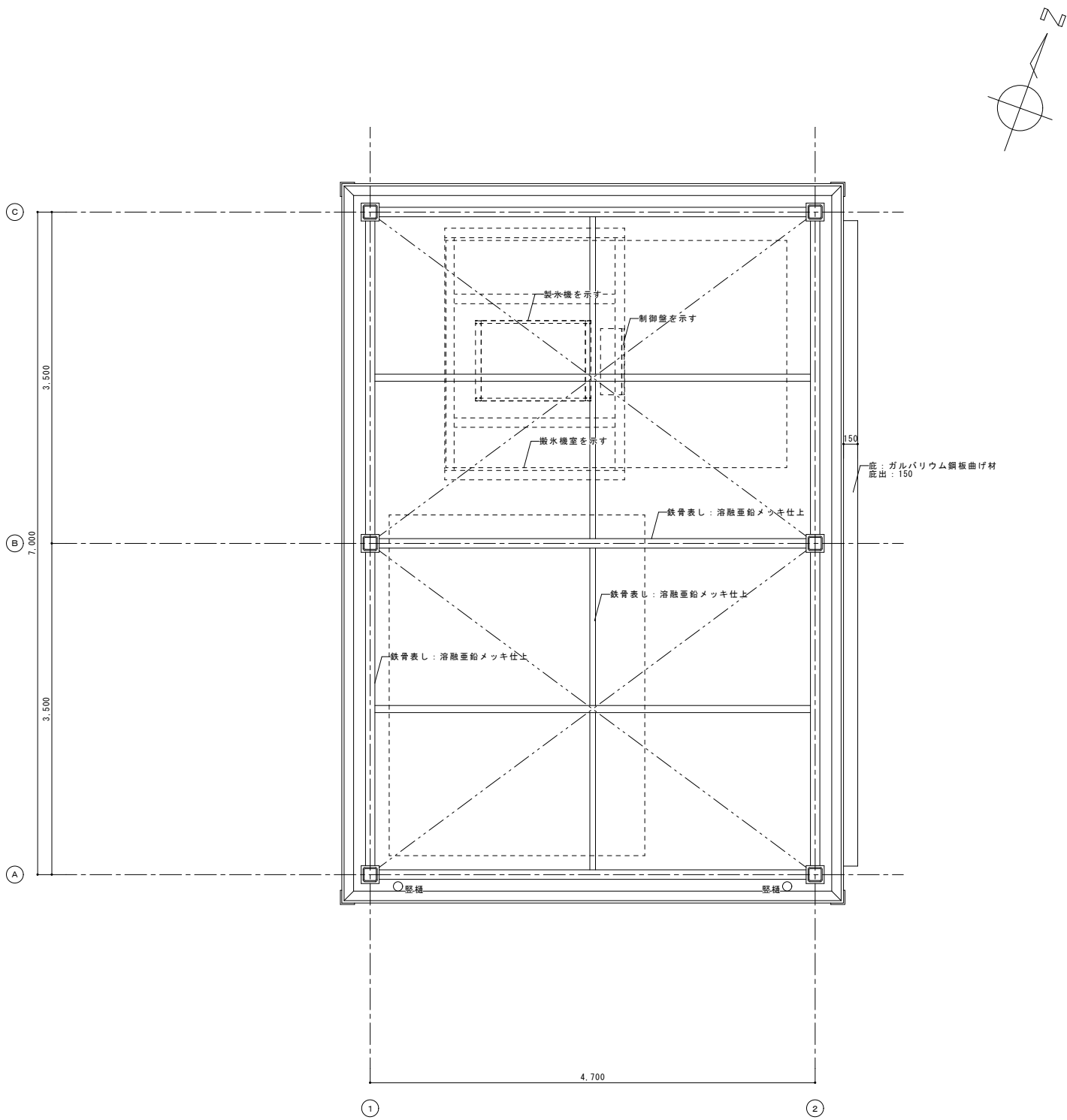
図面番号
A - 06



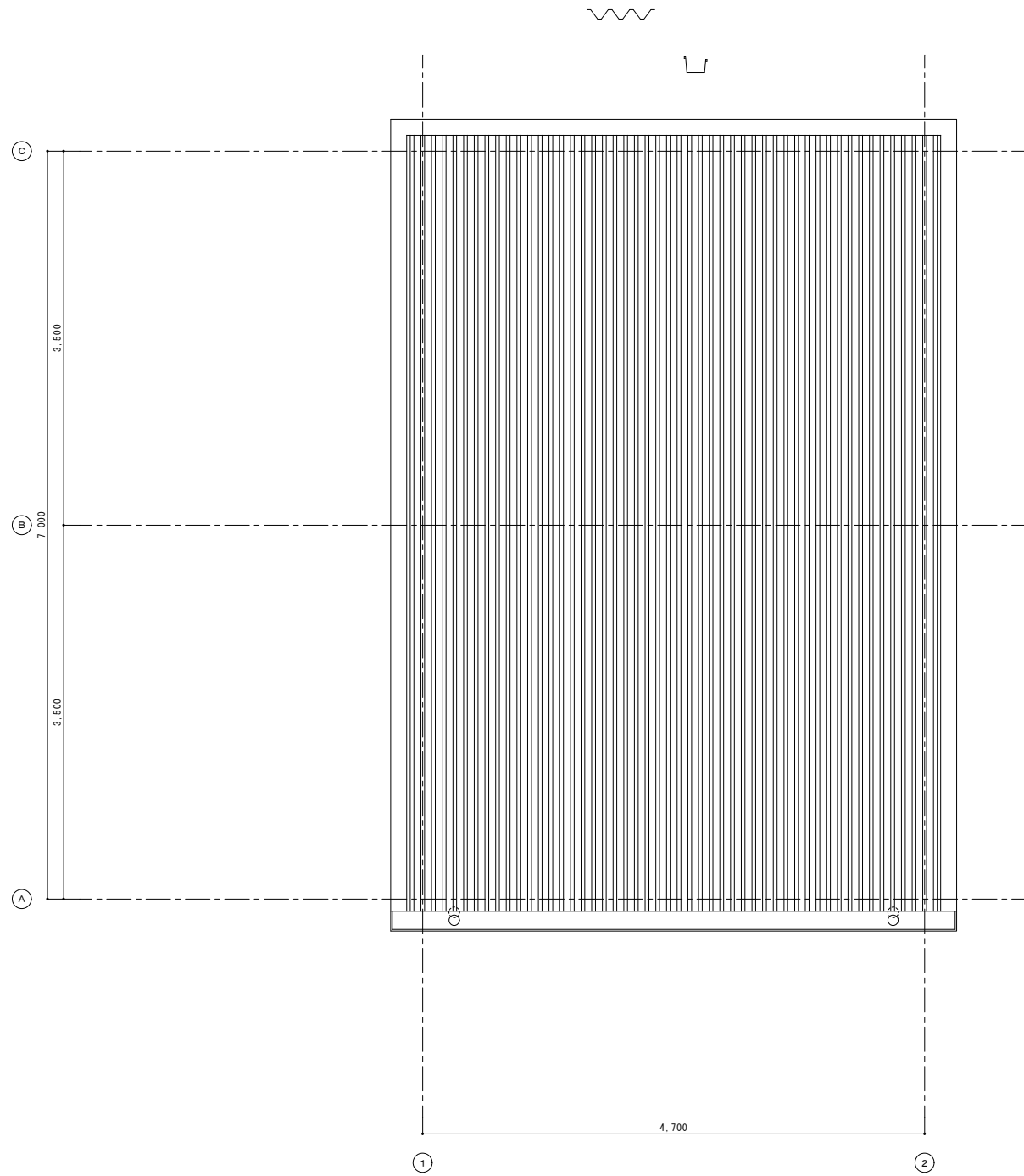
平面詳細図 GL+650付近
S=1/30



平面詳細図 GL+1500付近
S=1/30

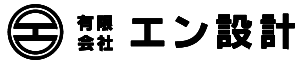


平面詳細図 梁付近
S=1/30



屋根平面詳細図
S=1/30

備考



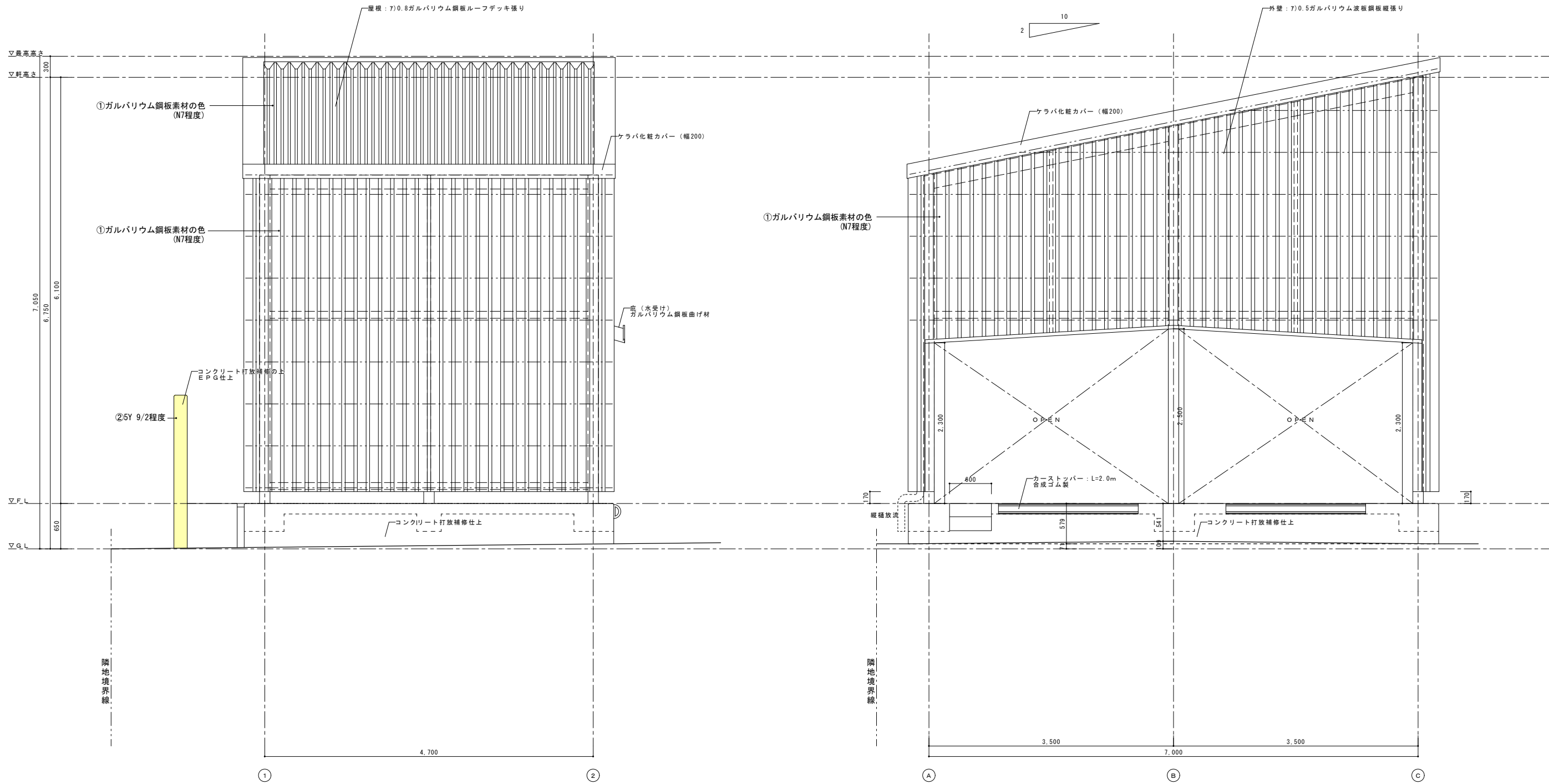
沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 TEL 098-933-8885
沖縄県知事登録第132-746号 FAX 098-933-8956
一級建築士第195008号 渡慶次 伸

事業名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 (R5線)
工事名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事
工事場所 竹富町字西表2493番地

図面名称
屋根平面詳細図

縮尺
A1版: 1/30
A3版: 1/60

図面番号
A - 08

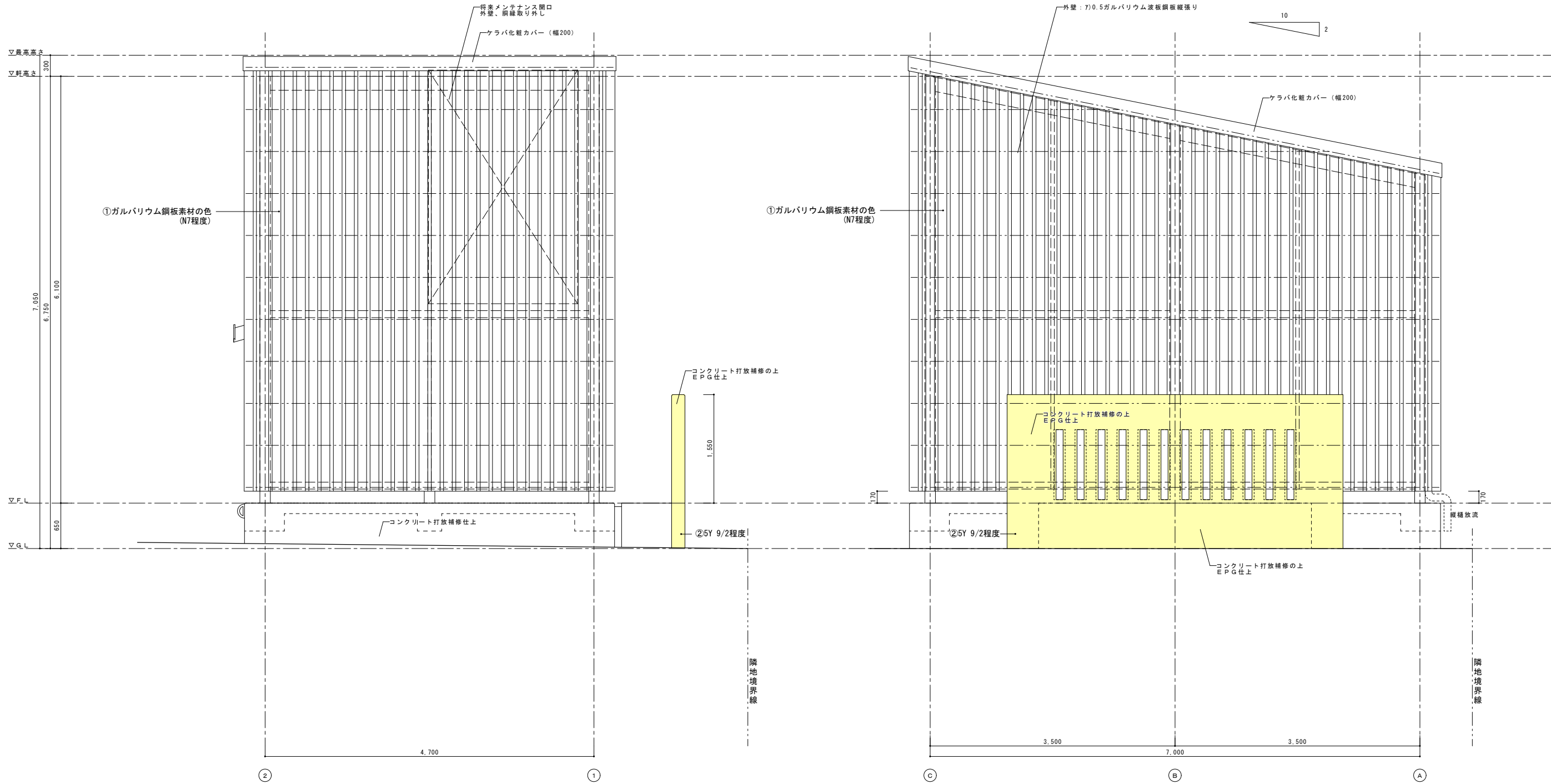


南面立面図
S=1/30

東面立面図
S=1/30

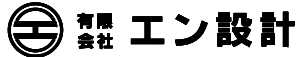
- 景観計画
■色彩
◎凡例
①・・・ガルバリウム素材の色 (N7程度)
②・・・5Y 9/2程度
■緑化
◎計画地内には緑地はないが、漁港内には緑地がある。(現況写真参照)

備考	 エン設計 会社	沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 沖縄県知事登録第132-746号 一級建築士第195008号	TEL 098-933-8885 FAX 098-933-8956 渡慶次 伸	事業名称	西表漁港製氷貯氷冷凍施設 (R5線)	図面名称 南・東面立面図	縮尺 A1版: 1/30 A3版: 1/60	図面番号 A - 09
				工事名称	西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事			
				工事場所	竹富町字西表2493番地			



□ 景観計画
■ 色彩
◎ 凡例
①・・・ガルバリウム素材の色 (N7程度)
②・・・5Y 9/2程度
■ 緑化
◎ 計画地内には緑地はないが、漁港内には緑地がある。(現況写真参照)

備考



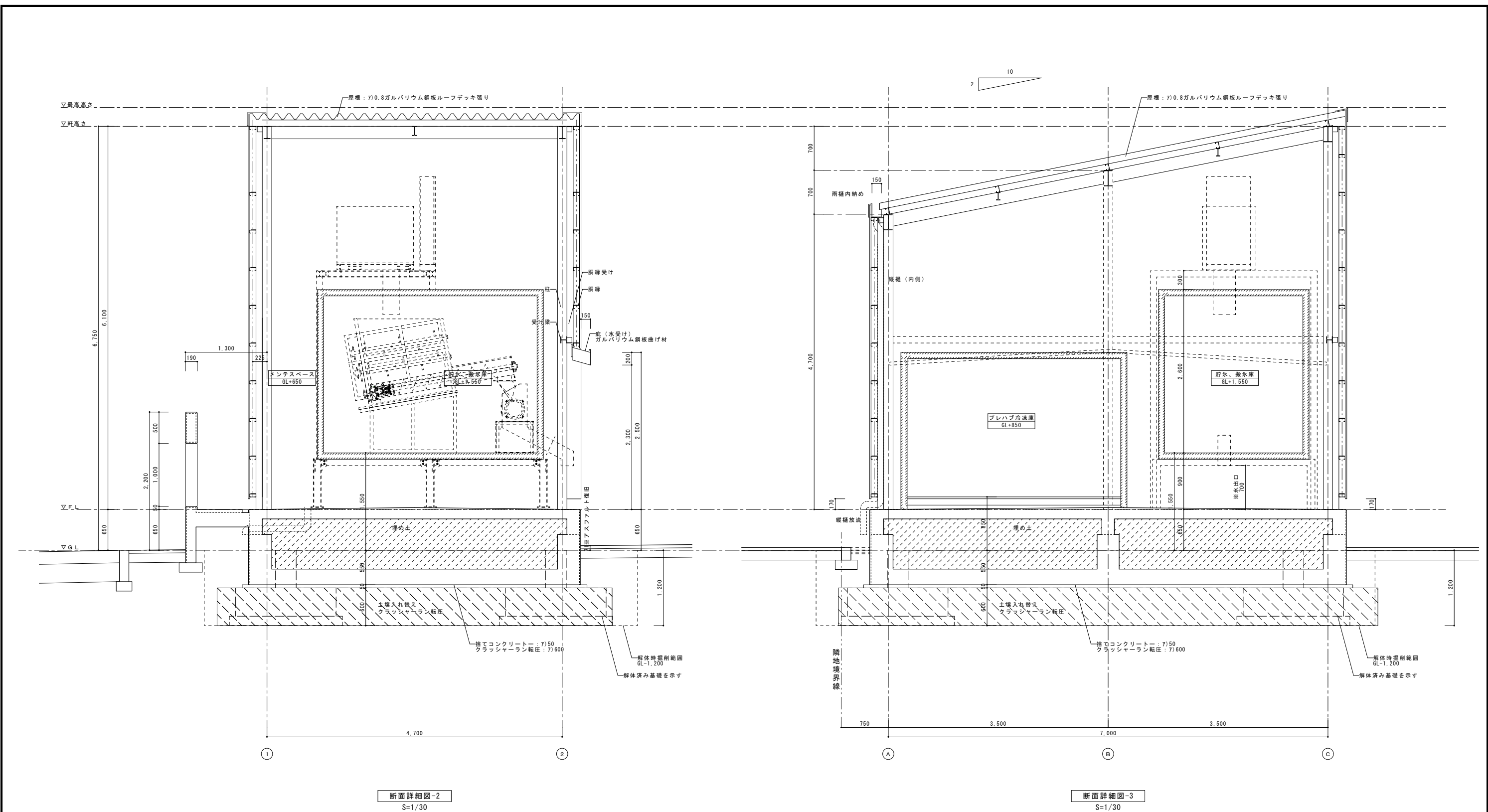
沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 TEL 098-933-8885
沖縄県知事登録第132-746号 FAX 098-933-8956
一級建築士第195008号 渡慶次 伸

事業名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 (R5線)
工事名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事
工事場所 竹富町字西表2493番地

図面名称
北・西面立面図

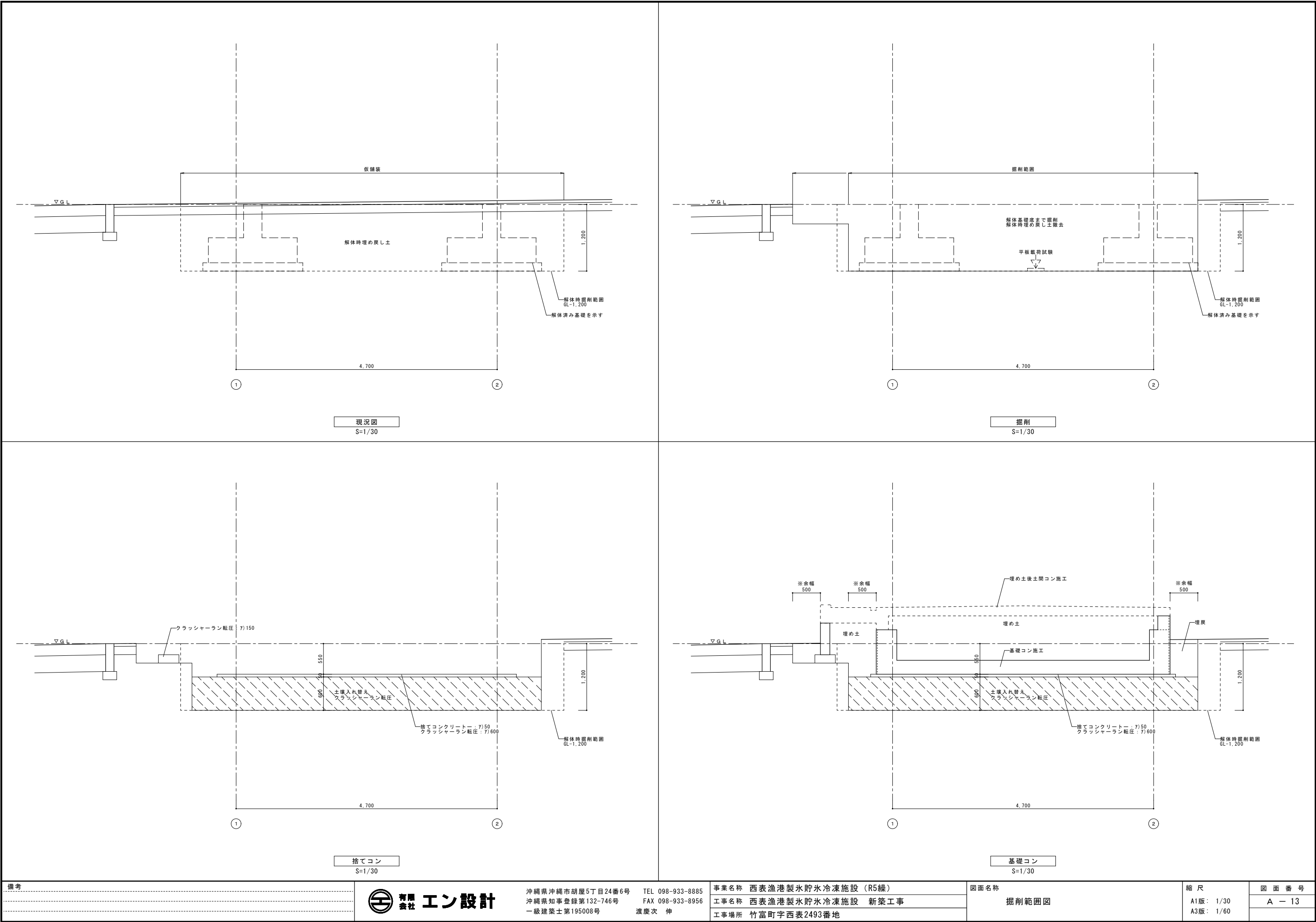
縮尺
A1版: 1/30
A3版: 1/60

図面番号
A - 10

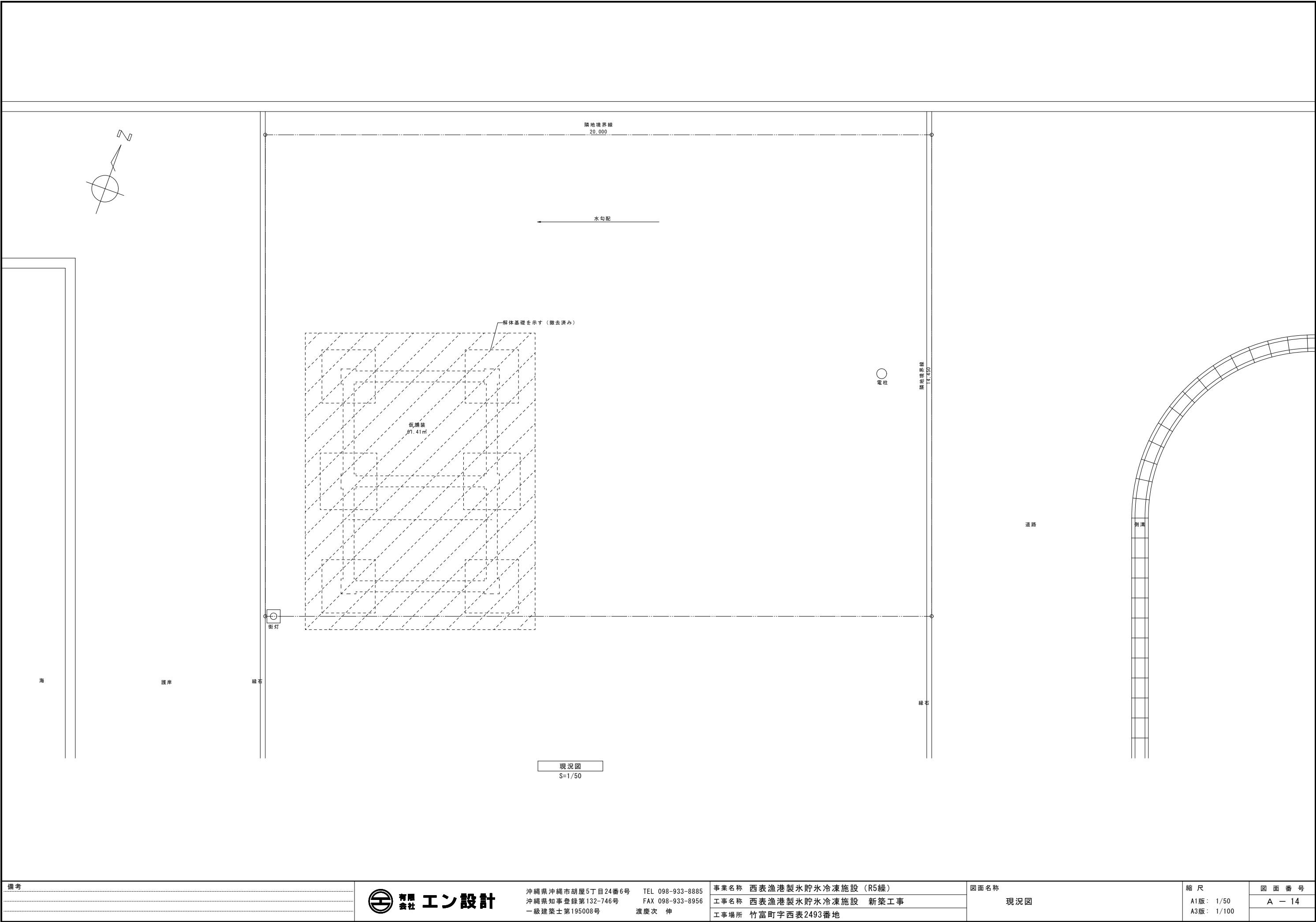


備考

 エン設計 有限会社	沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 沖縄県知事登録第132-746号 一級建築士第195008号	TEL 098-933-8885 FAX 098-933-8956 渡慶次 伸	事業名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 (R5線) 工事名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事 工事場所 竹富町字西表2493番地	図面名称 断面詳細図-2	縮尺 A1版: 1/30 A3版: 1/60	図面番号 A - 12

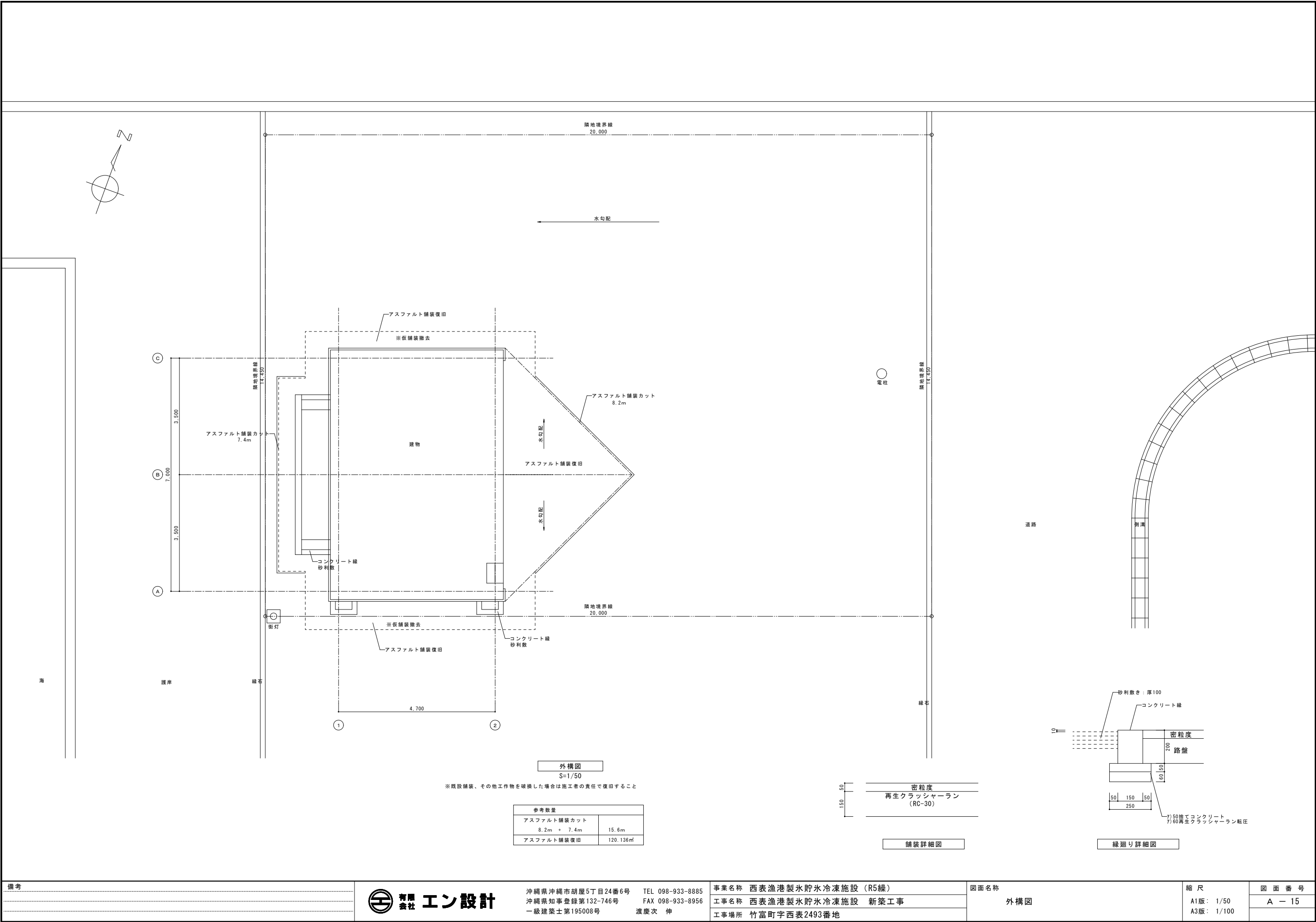


備考



備考

	沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号	TEL 098-933-8885	事業名称	西表漁港製氷貯氷冷凍施設（R5線）	図面名称	縮 尺	図 面 番 号
	沖縄県知事登録第132-746号	FAX 098-933-8956	工事名称	西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事			
	一級建築士第195008号	渡慶次 伸	工事場所	竹富町字西表2493番地			



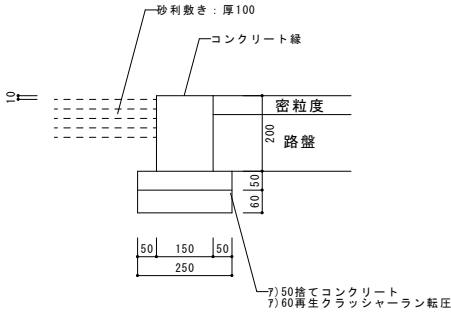
外構図
S=1/50

※既設舗装、その他工作物を破損した場合は施工者の責任で復旧すること

参考数量		
アスファルト舗装カット		
8.2m	×	7.4m
		15.6m
アスファルト舗装復旧		120.136㎡

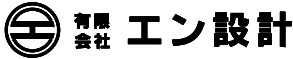
50	密粒度
150	再生クラッシャーラン (RC-30)

舗装詳細図



縁廻り詳細図

備考



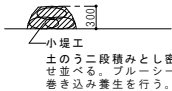
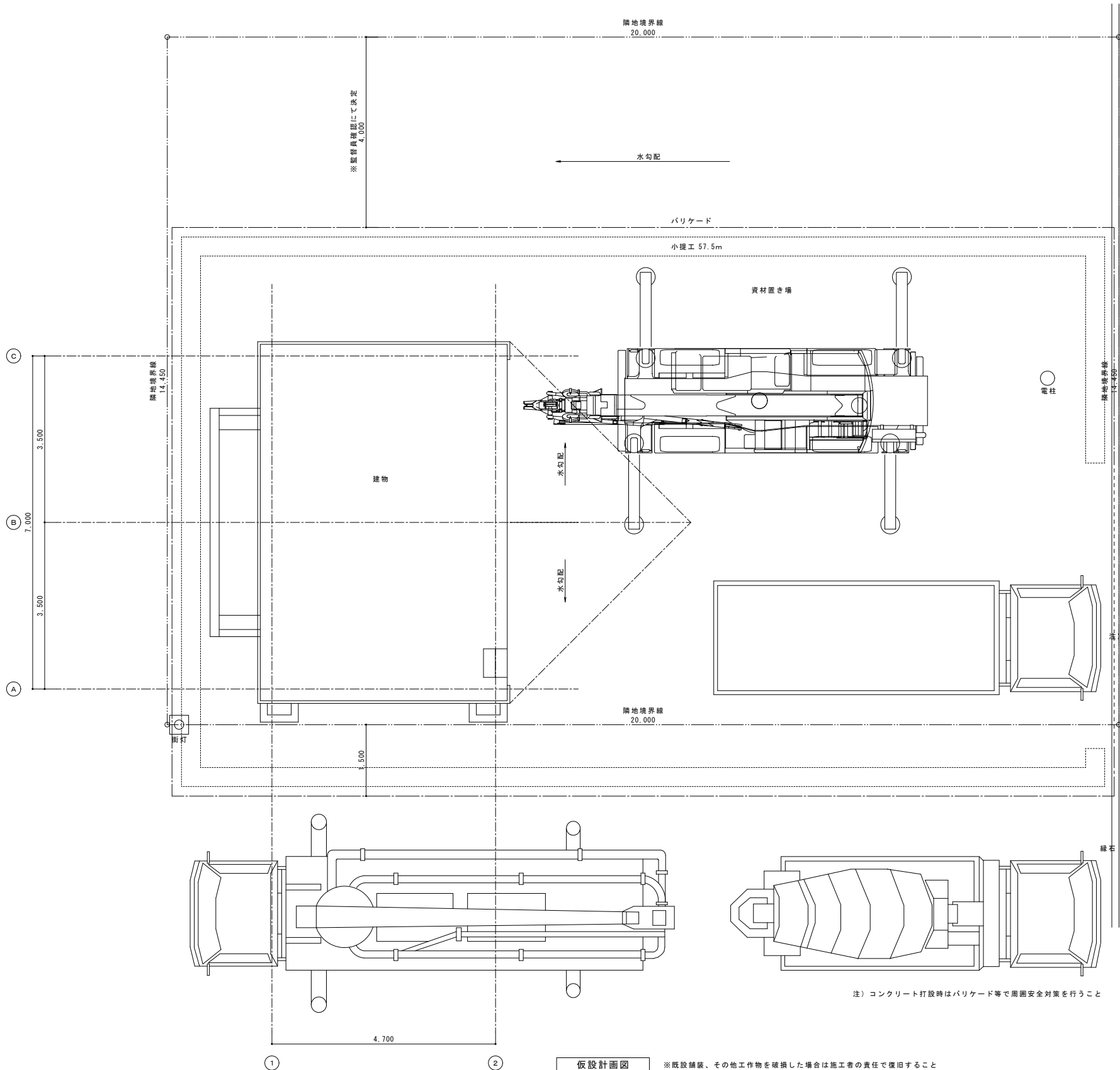
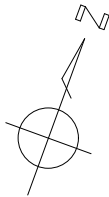
沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 TEL 098-933-8885
沖縄県知事登録第132-746号 FAX 098-933-8956
一級建築士第195008号 渡慶次 伸

事業名称	西表漁港製氷貯氷冷凍施設 (R5線)
工事名称	西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事
工事場所	竹富町字西表2493番地

図面名称	外構図
------	-----

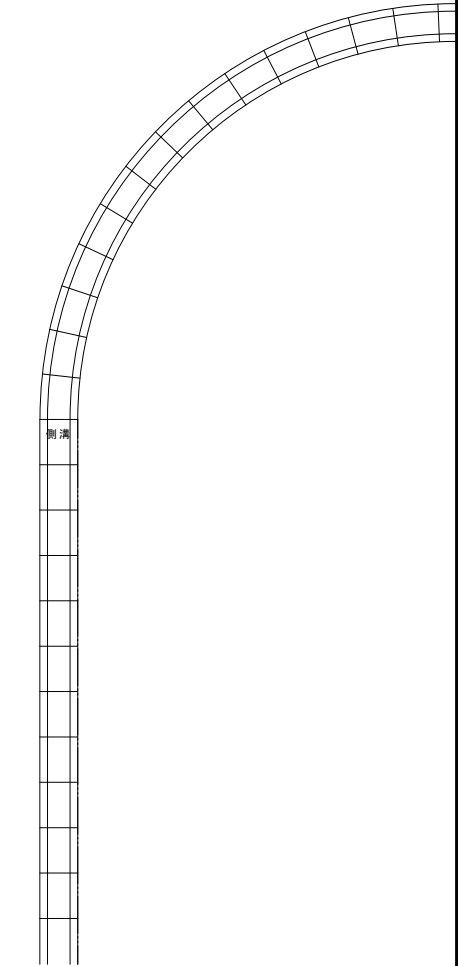
縮尺
A1版: 1/50
A3版: 1/100

図面番号
A - 15



小堤工詳細図 1/50

※本工程は沖縄県赤土等流出防止条例届出通知の届出・通知は不要ですが、流出防止対策は必要です（条例第3条）



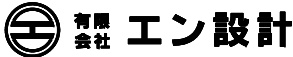
参考数量	
バリケード	57.5m
小堤工	57.5m

注) コンクリート打設時はバリケード等で周囲安全対策を行うこと

仮設計画図
S=1/50

※既設舗装、その他工作物を破損した場合は施工者の責任で復旧すること
工事期間中はバリケード等で工事現場を区分し安全対策を行うこと

備考



沖縄県沖縄市胡屋5丁目24番6号 TEL 098-933-8885
沖縄県知事登録第132-746号 FAX 098-933-8956
一級建築士第195008号 渡慶次 伸

事業名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設（R5線）
工事名称 西表漁港製氷貯氷冷凍施設 新築工事
工事場所 竹富町字西表2493番地

図面名称
仮設計画図

縮尺
A1版: 1/50
A3版: 1/100

図面番号
A - 16